

9 高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち1)

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

〔注意事項〕

- 1 答えは、全て解答用紙に記入すること。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の二種類がある。
- 3 マーク式問題の答えはマーク式解答用紙に、記述式問題の答えは記述式解答用紙に記入すること。
- 4 マーク式問題の答えは、問題で示された解答番号の欄にある数字をマークすること。例えば、解答番号1と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のようにマーク式解答用紙の解答番号1の解答欄③にマークすること。

(例)

| 解答番号 | 解 答 欄   |
|------|---------|
| 1    | ① ② ● ④ |

- 次の文章を読んで、あとの問1～九に答えなさい。(問1～五はマーク式問題、問六～九は記述式問題です。)なお、設問の關係で、本文の段落に1～19の番号を付しています。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

9

高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち2)

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

9 高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち3)

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(柄谷行人 「定本 日本近代文学の起源」 による。)

問一 ㉑ 春秋、㉒ つとに ㉓ ありますが、これらの本文中における意味として最も適切なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ選び、その番号を答えなさい。㉔は解答番号1の解答欄に、㉕は解答番号2の解答欄にそれぞれマークしなさい。

- ㉑ 春秋
- ① 外遊 ② 日記 ③ 論文 ④ 年月

㉒ つとに

- ① かねてより ② 意図的に ③ 偶然に ④ ようやく

問二 ㉖ はつきりと同じ品詞の語を、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号3の解答欄にマークしなさい。

- ① まさに ② 古めかしい ③ なぞらえる ④ 不確かだ

問三 X に当てはまる最も適切な語を、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号4の解答欄にマークしなさい。

- ① あるいは ② したがって ③ ところで ④ なぜなら

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問四

Y に当てはまる最も適切な語を、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号5の解答欄にマークしなさい。

- ① 相克的      ② 対立的      ③ 相補的      ④ 類推的

問五

この文章の構成に関する説明として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号6の解答欄にマークしなさい。

- ① [1]段落から[3]段落は『文学論』の序文を引用して、英文学への不満から漢文学への親しみを抱く漱石の姿を示し、[4]段落は西洋文学と日本文学の対比を踏まえながら独自のスタイルで創作された漱石の具体的な作品を挙げて問題の所在を明確化している。
- ② [5]段落は漱石と同時代に仕事をしていたロマン主義と自然主義の作家の紹介を通じて、漱石が文壇に迎合しつつも「近代文学」への疑義を訴えていた状況を示し、[6]・[7]段落は近代文学を超越するための方法を探るために、漱石自身も用いていた絵画の例に話題を広げている。
- ③ [8]・[9]段落は宇佐美圭司の文章の引用を踏まえて、近代西洋の風景画を通して「山水画」が見いだされた経緯を説明し、[10]段落から[15]段落は、「山水画」と幾何学的遠近法を用いた西洋の風景画は本質的に異なることを指摘して論を深めている。
- ④ [16]段落で柳田国男、[17]段落でパノフスキーに言及することで、[18]・[19]段落は絵画における幾何学的遠近法が近代文学における「自己表現」の成立の前提にあることを示し、近代文学の見方を前代や古代に投射することが「文学史」の捏造につながる、という筆者の主張を導いている。

問六

A 漱石がここで「漢文学」と呼ぶのは、そのようなものではないとありますが、漱石が「漢文学」と呼ぶのはどのようなものですか。本文中における筆者の主張を踏まえて、七十字以内で書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問七

B 中世ヨーロッパの宗教画と中国の山水画は、対象をまったく異にするにもかかわらず、対象を見る形態において共通していたのであるとありますが、中世ヨーロッパの宗教画と中国の山水画では、対象を見る形態においてどのような点が共通していますか。本文中における筆者の主張を踏まえて、六十字以内で書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

9 高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち5)

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問八 風景としての風景とありますが、筆者は本文に続く文章で、文学において「風景」としての風景を書いた例として国木田独歩の『忘れえぬ人々』を挙げています。次の【資料】は、筆者が国木田独歩の『忘れえぬ人々』を引用し、それについての考えを述べた部分です。次の【資料】を読み、あとの「問い」に答えなさい。

【資料】

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(柄谷行人 「定本 日本近代文学の起源」 による。)

「問い」 「風景」としてみられているとありますが、筆者が島かげにいた男について、「風景」としてみられていると述べたのはなぜですか。その理由を、本文中における筆者の主張を踏まえて、【資料】から根拠を挙げて書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問九 ㉑㉒について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みを平仮名で、それぞれ書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

|      |  |
|------|--|
| 受験番号 |  |
| 氏名   |  |

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

〔二〕次の文章は、源氏の宮へのかなわぬ恋に思い悩む中将の君が、端午の節句を前に、路上で菖蒲を売り歩く男たちを目にする場面です。これを読んで、あとの問一～六に答えなさい。(問一～三はマーク式問題、問四～六は記述式問題です。)

四月も過ぎぬ。五月四日にもなり ㉒。中将の君、内裏よりまかり出たまふに、道すがら見たまへば、<sup>注1</sup>菖蒲引き掛けぬ賤の男なく行きちがひつつ、もてあつかふさまども、げに、かく深かりける十市の里の<sup>注2</sup>こひちなるらんと見ゆる、足もとどものア いみじげなる、も知らず、いと多く持ちたるを、いかに苦しがるらんと、目留まりて、

うき沈みねのみなかるる菖蒲草かかるとひちと人も知らぬに

と I 思さる。玉の台の軒端に掛けて見たまふは、をかしうのみこそあるを、御車のさきに、顔なども見えぬまで行きやらぬを、御隨身ども、おどろおどろしく声々に追ひ留むれば、身のならんやうも知らず、かがまり II 居たるを見たまひて、「さしも苦しげなるものを、 A かくな言ひそ」と制せさせたまへば、「慣らひにてはべれば、 B さばかりのものは何か苦しくさぶらはん」と申すを、心憂くも言ふかな、と聞きたまふ。恋の持夫は、我が御身にて憤らひたまへればなるべし。

大きなるも小さきも、端ごとに葺き騒ぐを、御車より少し覗きつつ見過したまふに、言ひ知らず小さき草の庵どもに、ただ一筋づつなど置きわたすを、何の人真似すらん、とあはれに見たまふ。御容貌の夕映、まことに光るやうなるを、半菰に集まり立ちて見たてまつり賞づる人々ありけり。御車のありさま、御隨身どもの思へるけしき、姿なども、 I なべての人とは見えず、めづらしう、うつくしげなる、あれが身にてだにあら ㉓。ばや、何事思ふらんと、<sup>注3</sup>若き人々めで惑ひて、過ぎたまふが口惜しければ、軒の菖蒲一筋引き落して、急ぎ III 書き、よろしきはした者して追ひて奉る。後れて走る御隨身に取らせて帰るを、「 C いづくよりとか申さん、やがて御車に参りたまへ」とて IV とらへつ。参らせたるを御覧すれば、

D しらぬまのあやめはそれと見えずとも蓬が門は過ぎずもあらなん

とぞある。いかなるすき者の居たる ㉔。ならむ、とうちほほ笑みて問はせたまへば、言はんやは。御隨身ども、そのわたりに筆求めて持て参りたれば、<sup>注4</sup>経紙などのにや、<sup>注5</sup>泥の着きたるぞありける。畳紙に、<sup>注6</sup>あらぬ筋に紛らはして、

E 見も分かで過ぎにけるかなおしなべて軒端のあやめ隙しなれば

「いまわざと参らむ」と言はせたまひて、「童の入らむ所見よ」とぞのたまひて、過ぎたまふ。葎高く上げわたして、人々の透影あまたして、童べのをかしき、あまた多かり。見おきはべるよし申せば、何人ならん、見知りたりけるにや、と思せど、かやうのうちつけ懸想などは御心にも入らず、ただあるまじきことをのみぞ、いかなるも、御身苦しう思しはばかる ㉕。める。

(「狭衣物語」による。)

(注1) 菖蒲 II 端午の節句のときには、菖蒲を軒に葺いたり、鬘として頭に付けたりした。

(注2) こひち II 泥。和歌では多く「恋路」にかけて用いる。

(注3) 若き人々 II 若い女房たち。

(注4) 経紙 II 写経に用いる紙。

(注5) 泥 II 金粉・銀粉をにかわの液に溶かして泥状にしたもの。

(注6) あらぬ筋に紛らはして II 筆跡をそれと知られぬように変えたことを表す。

# 高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち7)

|      |    |
|------|----|
| 受験番号 | 氏名 |
|------|----|

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問一

ア いみじげなる、イ すべての人 とありますが、これらの本文中における意味として最も適切なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ選び、その番号を答えなさい。アは解答番号7の解答欄に、イは解答番号8の解答欄にそれぞれマークしなさい。

ア いみじげなる

- ① 整った様子である ② 痛々しい様子である ③ ひどい様子である ④ 美しい様子である

イ すべての人

- ① 高貴な人 ② 無教養な人 ③ 不審な人 ④ 普通の人

問二

① a、② b、③ c、④ d について、それぞれの文法的説明の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号9の解答欄にマークしなさい。

- |            |              |            |             |
|------------|--------------|------------|-------------|
| ① a 完了の助動詞 | ② b 終助詞      | ③ c 断定の助動詞 | ④ d 推定の助動詞  |
| ② a 完了の助動詞 | ③ b 接続助詞＋係助詞 | ④ c 動詞     | ① d 動詞の活用語尾 |
| ③ a 打消の助動詞 | ④ b 終助詞      | ① c 動詞     | ② d 推定の助動詞  |
| ④ a 打消の助動詞 | ① b 接続助詞＋係助詞 | ② c 断定の助動詞 | ③ d 動詞の活用語尾 |

問三

I 思える、II 居たる、III 書き、IV とらへつ とありますが、それぞれの主語の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号10の解答欄にマークしなさい。

- |          |          |          |         |
|----------|----------|----------|---------|
| ① I 賤の男  | II 御随身ども | III はした者 | IV 中将の君 |
| ② I 中将の君 | II 賤の男   | III 若き人々 | IV 御随身  |
| ③ I 賤の男  | II 賤の男   | III はした者 | IV 御随身  |
| ④ I 中将の君 | II 御随身ども | III 若き人々 | IV 中将の君 |

問四

A かく言ひそ、C いづくよりと申さん の現代語訳をそれぞれ書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問五

B さばかりのものとありますが、これは何を指していますか。二十五字以内で具体的に書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問六

和歌Dと和歌Eについて、中将の君が和歌Eを贈ったのはなぜですか。その理由を、和歌Dと和歌Eの内容を明らかにして書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

## 高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち8)

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

【三】 次の文章を読んで、あとの問一～七に答えなさい。(問一～五はマーク式問題、問六・七は記述式問題です。) なお、設問の關係で返り点・送り仮名・符号を一部省略しています。

前漢ノ高祖居<sup>ニ</sup>雒陽<sup>ヤウ</sup>南宮<sup>ニ</sup>、從<sup>ニ</sup>復道<sup>ニ</sup>望見スル<sup>ニ</sup>、諸將往往偶語ス。  
 上問<sup>ニ</sup>張良<sup>ニ</sup>。良曰ク、陛下起<sup>ニ</sup>布衣<sup>ヨリ</sup>、与<sup>ニ</sup>此<sup>ノ</sup>属<sup>一</sup>取<sup>ニ</sup>天下<sup>一</sup>ヲ。  
 今已<sup>ニ</sup>為<sup>ニ</sup>天子<sup>一</sup>ト、而所<sup>レ</sup>ハ封<sup>ズル</sup>皆<sup>ハ</sup>蕭曹<sup>ニ</sup>ア故<sup>ニ</sup>人所<sup>ニ</sup>親愛<sup>一</sup>スル、<sup>X</sup>所<sup>レ</sup>誅<sup>スル</sup>  
 者皆平生ノ仇怨ナリ。此ノ属<sup>ハ</sup>A畏<sup>ニ</sup>陛下不能<sup>レ</sup>尽<sup>ニ</sup>封<sup>一</sup>、又恐<sup>ル</sup>イ見<sup>レ</sup>疑<sup>ニ</sup>ハ過  
 失<sup>一</sup>ヲ及<sup>レ</sup>上<sup>レ</sup>。B誰<sup>カ</sup>最<sup>モ</sup>甚<sup>ダシキ</sup>者ゾト。上曰ク、雍齒<sup>ハ</sup>与<sup>レ</sup>我有<sup>ニ</sup>故<sup>一</sup>キ怨<sup>ミ</sup>。  
 所<sup>ニ</sup>ナリ共<sup>ニ</sup>知<sup>ル</sup>。B誰<sup>カ</sup>最<sup>モ</sup>甚<sup>ダシキ</sup>者ゾト。上曰ク、雍齒<sup>ハ</sup>与<sup>レ</sup>我有<sup>ニ</sup>故<sup>一</sup>キ怨<sup>ミ</sup>。  
 数<sup>シバ</sup>窘<sup>キン</sup>辱<sup>ジュク</sup>ス我<sup>一</sup>ヲ。我欲<sup>ス</sup>スレドモ殺<sup>サント</sup>之<sup>ヲ</sup>、為<sup>ニ</sup>C功<sup>一</sup>多<sup>キ</sup>。D不<sup>レ</sup>忍<sup>ビ</sup>。良  
 曰ク、今急<sup>ニ</sup>先<sup>ツ</sup>封<sup>レ</sup>シテ齒<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>示<sup>ニ</sup>サバ群臣<sup>一</sup>ニ、則<sup>チ</sup>人人<sup>ハ</sup>自<sup>ラ</sup>堅<sup>カラント</sup>矣。  
 於<sup>レ</sup>是<sup>ニ</sup>上置<sup>シ</sup>酒<sup>シ</sup>、封<sup>レ</sup>シテ齒<sup>ヲ</sup>為<sup>ニ</sup>什方侯<sup>一</sup>ト、而急<sup>ニ</sup>趣<sup>ニ</sup>丞相<sup>一</sup>御史<sup>一</sup>ヲ、  
 定<sup>レ</sup>メ功<sup>ヲ</sup>行<sup>レ</sup>ナフ封<sup>ヲ</sup>。群臣罷<sup>レ</sup>メ酒<sup>ヲ</sup>皆<sup>ハ</sup>喜<sup>ンデ</sup>曰ク、雍齒<sup>スラ</sup>且<sup>ツ</sup>侯タリ。我ガ属<sup>ニ</sup>  
 無<sup>レ</sup>シト患<sup>ヘ</sup>矣。

(「蒙求」による。)

(注1) 高祖 漢王朝で最初の天子。

(注2) 張良 高祖に仕えた臣。

(注3) 布衣 官位の無い人。

(注4) 蕭曹 蕭何と曹參。いずれも高祖に仕えた臣。

(注5) 窘辱 苦しめること。

(注6) 置酒 酒宴を設けること。

# 高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち9)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問一 **A** 故人の本文中における意味として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号11の解答欄にマークしなさい。

- ① 古老    ② 旧知    ③ 先人    ④ 死者

問二 **イ** 見の文法的な意味として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号12の解答欄にマークしなさい。

- ① 疑問    ② 使役    ③ 受身    ④ 否定

問三 **A** 畏陛下不能尽封を全て平仮名で書き下したものととして最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号13の解答欄にマークしなさい。

- ① へいかをおそれてほうじつくことあたはず  
② へいかのことごとくほうずるあたはざるをおそれ  
③ へいかをおそれてあたはざるをことごとくほうじ  
④ へいかのことごとくあたはざるをおそれほうじ

問四 **B** 誰か最も甚者とありますが、その解釈として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号14の解答欄にマークしなさい。

- ① 陛下は誰に最も疎んじられていると思いますか  
② 陛下が最も優れていると思うのは誰ですか  
③ 陛下は誰が最も疑われていると思いますか  
④ 陛下が最も憎んでいるのは誰ですか

問五 **C** 功多、不レ忍とありますが、それぞれの主語として最も適切なものを、次の①～④の中からそれぞれ選び、その番号を答えなさい。Cは解答番号15の解答欄に、Dは解答番号16の解答欄にそれぞれマークしなさい。

- ① 高祖    ② 張良    ③ 蕭何・曹参    ④ 雍齒

問六 **X** 所誅者皆平生の仇怨の現代語訳を書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問七 **Y** 喜とありますが、群臣が喜んだのはなぜですか。その理由を、本文の内容を踏まえて書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

# 高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち10)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

【四】 次に示す、平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領 国語 現代の国語 内容 「思考力、判断力、表現力等」 A 話すこと・聞くこと について、あとの問一・二に答えなさい。

(1) 話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。

イ 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、X 論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。

ウ 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫すること。

エ Y 聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすること。

オ 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。

問一 X に当てはまる語句として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。 解答番号17の解答欄にマークしなさい。

- ① 相手の反応を予想して
- ② 相手を説得できるように
- ③ 具体例を効果的に配置して
- ④ 根拠の適切さに注意して

問二 Y に当てはまる語句として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。 解答番号18の解答欄にマークしなさい。

- ① 論点を明確にして自分の考えと比較しながら
- ② 必要に応じて記録したり質問したりしながら
- ③ 論理の展開を予想しながら
- ④ 多様な考えを想定しながら

受験番号

氏 名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

【五】 平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領 国語 言語文化 内容 「思考力、判断力、表現力等」 B 読むこと (1) ウ  
には、「文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。」と示されています。あなたは、この指導事項に基づいた単元を設定しようとしています。次の表は、この単元における【目標】、【言語活動】、【評価規準】、【単元の流れ】、【指導の要点】を示したもので、【教材1】及び【教材2】は、この単元で使用するものです。これらについて、あとの「問い」に答えなさい。

|         |                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【目標】    | 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。                                                                                                                                                                                                            |
| 【言語活動】  | 【教材1】と【教材2】を比較して読み、【教材1】の文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する文章を書く。                                                                                                                                                                                    |
| 【評価規準】  | 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。                                                                                                                                                                                                     |
| 【単元の流れ】 | <p>一次…単元の見通しをもち、教科書に掲載されている文章を読み、構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する学習を行う。</p> <p>二次…一次の学習を生かして、【教材1】と【教材2】を比較して読み、【教材1】の文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する文章を書く。</p> <p>三次…一次と二次の学習を通して、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色についての解釈がどのよう<br/>に広がったり深まったりしたかを捉え、気づきを発表し合う。</p> |
| 【指導の要点】 | <p>○ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色に着目して読む際には、内容がどのように書かれているかという形式に注意して、文章が書かれた目的に照らし、その効果が適切なものであるか、自分の知識や経験に照らし合わせて優れた工夫といえるかなどについて検討するよう指導を行う。</p> <p>○ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する際には、優れている点だけでなく課題とされる点も含めて指摘するよう指導を行う。</p>                        |

## 【教材1】

熊谷二郎直実、渚に打ち立て此れをみて、「あれは大将軍とこそみ進らせ候へ。まさなうも候ふ御後すがたかな。返し合はせ給へや」とよばいければ、いかゞ思ひ給ひけむ、汀へむけてぞおよがせける。馬の足立つほどになりければ、弓矢をなげすて、太刀を抜て額にあてゝ、をめてはせあがりたり。熊谷待ちうけたる事なれば、上げもたてず、馬の上にて引き組み浪打ぎはへ落ちにけり。上になり下になり、三はなれ四はなれくみたりけれども、ついに熊谷上になりぬ。左右の膝を以て鑑の左右の袖をむすとをさへたりければ、少しもはたらかず。熊谷腰刀をぬいて、内甲をかゝむとてみれば、十五六計りなる若人の色白くみめうつくしくして、薄気装して、かね黒也。鮮媚たる両髪は秋の蟬の羽を並べ、竜転たる双蛾は遠山の色にまがへりなむと云も、かくやと覚えて哀れ也。あな糸惜しやと心弱く覚えて、「抑も君は誰人の御子にて渡らせ給ふぞ」と問ふに、只「とくきれ」と答へたり。直実又申けるは、「君を雑人の中に置き進らせ候む事のいたはしさに、御名を備に承りて必ず御孝養申すべし。其の故は兵衛佐殿の仰せに、『能き敵打ちて進らせたらむ者には、千町の御恩有るべし』と候ひき。彼の所領即ち君より給はりたりと存じ候ふべし。是れは武蔵国住人、熊谷二郎直実と申す者にて候」と申ければ、「一つのなじみ、一つの対面ともなきに、是れ程に思ふらむこそ難有けれ。又名乗りても討たれなむず、なのらでもうたれむず。とても討たるべき身なれば、又かやうに云ふも疎かならず」と思われければ、「我は太政入道の弟、修理の大夫経盛の末子、大夫敦盛とて生年十六歳になるぞ。早切れ」とぞ宣ける。熊谷弥哀れに覚えて、「直実が子息小二郎直家も十六ぞかし。さては吾が子と同年にておわしけり。かく命をすて軍をするも、直家が末の代

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

の事を思ふが故也。我が子を思やうにこそ人の親も思ひ給ふらめ。此の殿一人打たずとも、兵衛佐殿勝ち給ふべき軍によも負け給わじ。打ちたりとても負け給べくは、それにもよるべからず」なむと思ひ煩ひけるほどに、前にも後ろにも組て落つる者もあり。頸を取る者もあり。さるほどに土肥二郎実平三十騎計りにて出で来たり。

「土肥が見るに、此の殿を助けたらば、熊谷手取りにしたる敵をゆるしてけりと、兵衛佐殿に漏れ聞かれ奉らむ事、口惜しかるべし」と思ければ、「君を只今助け進らせて候ふとも、終にのがれ給へからず。御孝養は直実よく仕り候ふべし」とて、目を塞ぎて頸をかきてけり。

(「平家物語(延慶本)」による。)

## 【教材2】

熊谷、「あれは大将軍とこそ見まいらせ候へ。まさなうも敵にうしろを見せさせたまふものかな。かへさせ給へ」と、扇をあげてまねきければ、招かれて、とッてかへす。汀にうちあがらんとするところに、おし並べてむずとくんでどうど落ち、とッておさへて頸をかゝんと甲をおしあふのけて見ければ、年十六七ばかりなるが、うす化粧けしやうして、かねぐる也。我子の小次郎がよはひ程にて、容顔まことに美麗也ければ、いづくに刀を立つべしとおぼえず。「抑おさいかなる人にてまし候ぞ。名のらせ給へ、たすけまいらせん」と申せば、「汝はたそ」とゝひ給ふ。「物、そのもので候はねども、武蔵国住人、熊谷次郎直実」となのり申す。「さては、なんぢにあふては、なのるまじひぞ。なんぢがためにはよい敵ぞ。名のらずとも頸をとッて人にとへ。見知らふするぞ」とぞのたまひける。熊谷、「あッばれ大将軍や。此の人一人討ちたてまつたり共、まぐべきいくさに勝つべきやうもなし。又討ちたてまつらずとも、勝つべきいくさにまぐる事もよもあらじ。小二郎がうす手負たるをだに、直実は心ぐるしうこそ思ふに、此の殿の父、討たれぬと聞ひて、いか計かなげき給はんずらん。あはれたすけたてまつらばや」と思ひて、うしろをきツと見ければ、土肥・梶原五十騎ばかりでつゞひたり。熊谷、涙をおさへて申しけるは、「たすけまいらせんとは存じ候へども、御方の軍兵、雲霞のごとく候。よものがれさせ給はじ。人手にかけまいらせんより、同じくは、直実が手にかかけまいらせて、後の御孝養をこそ仕り候はめ」と申しければ、「たゞとく／＼頸をとれ」とぞのたまひける。熊谷、あまりにいとをしくて、いづくに刀をたつべしとおぼえず、目もくれ心も消えはてて、前後不覚におぼえけれども、さてしもあるべき事ならねば、なく／＼頸をぞかいてンげる。

(「平家物語(寛一本)」による。)

【問い】 あなたは、この単元の【単元の流れ】に示す【二次】において、「教材1」と【教材2】を比較して読み、【教材1】の文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する文章を書く」という学習課題を設定して、【指導の要点】を踏まえた指導をしようとしています。【教材1】及び【教材2】は、いずれも、「平家物語」の一節で、同じ場面を描いたものです。【二次】において生徒が書いた文章として、「おおむね満足できる」状況(B)を満たす文章を具体的に想定し、あとの条件1・2に従って書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

条件1 【教材1】及び【教材2】の中から根拠となる叙述を挙げて書くこと。

条件2 「文章の構成や展開」と「表現の仕方、表現の特色」の両方の項目を取り上げ、いずれの項目についての言及が分かるように書くこと。

氏名

## ⑨ 高等学校 国語科 マーク式解答用紙

受験番号

|   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |   |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 |

## 〔記入上の注意〕

1. 余白には何も記入しないでください。
2. HBまたはBの鉛筆で該当する○にマークしてください。  
 マーク例 《良い例》 ●  
 《悪い例》 ○ ○ ×
3. 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
4. 受験番号については、6桁の数字を記入したうえで、該当する○にマークしてください。

一

| 解答番号 | 解答欄     |
|------|---------|
| 1    | ① ② ③ ④ |
| 2    | ① ② ③ ④ |
| 3    | ① ② ③ ④ |
| 4    | ① ② ③ ④ |
| 5    | ① ② ③ ④ |
| 6    | ① ② ③ ④ |

二

| 解答番号 | 解答欄     |
|------|---------|
| 7    | ① ② ③ ④ |
| 8    | ① ② ③ ④ |
| 9    | ① ② ③ ④ |
| 10   | ① ② ③ ④ |

三

| 解答番号 | 解答欄     |
|------|---------|
| 11   | ① ② ③ ④ |
| 12   | ① ② ③ ④ |
| 13   | ① ② ③ ④ |
| 14   | ① ② ③ ④ |
| 15   | ① ② ③ ④ |
| 16   | ① ② ③ ④ |

四

| 解答番号 | 解答欄     |
|------|---------|
| 17   | ① ② ③ ④ |
| 18   | ① ② ③ ④ |

9

(3枚のうち1)

受験番号

氏名

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

問題番号

解 答 欄

問一と五は、マーク式解答用紙に記入すること

問六

問七

問八

問九

⑦

①

⑦

①

才

高等学校 国語科 記述式解答用紙

(3枚のうち2)

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

| 問題番号                   |  |  |  |  | 解答欄 |    |
|------------------------|--|--|--|--|-----|----|
| 問一〇三は、マーク式解答用紙に記入すること。 |  |  |  |  | 問四  | 問五 |
|                        |  |  |  |  |     |    |
| 問六                     |  |  |  |  | C   | A  |
|                        |  |  |  |  |     |    |
|                        |  |  |  |  |     |    |
|                        |  |  |  |  |     |    |
|                        |  |  |  |  |     |    |
|                        |  |  |  |  |     |    |
|                        |  |  |  |  |     |    |
|                        |  |  |  |  |     |    |
|                        |  |  |  |  |     |    |
|                        |  |  |  |  |     |    |
|                        |  |  |  |  |     |    |

| 問題番号                   |  |  | 解答欄 |    |
|------------------------|--|--|-----|----|
| 問一〇五は、マーク式解答用紙に記入すること。 |  |  | 問六  | 問七 |
|                        |  |  |     |    |
|                        |  |  |     |    |
|                        |  |  |     |    |
|                        |  |  |     |    |
|                        |  |  |     |    |
|                        |  |  |     |    |
|                        |  |  |     |    |
|                        |  |  |     |    |
|                        |  |  |     |    |
|                        |  |  |     |    |
|                        |  |  |     |    |

四は、マーク式解答用紙に記入すること。

(3枚のうち3)

受験番号

氏名

|      |  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|------|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 問題番号 |  | 五 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 解答欄  |  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |